

会 議 録

会議の名称	西東京市介護保険運営協議会第1回会議
開催日時	令和元年7月29日（月曜日） 午後1時00分から午後3時00分まで
開催場所	西東京市役所 田無庁舎4階 第3委員会室
出席者	<p>（出席委員） 渡邊委員長、須加副委員長、平塚委員、伊集院委員、伊藤委員、丸山委員、酒井委員、尾林委員、小柳委員、市村委員、堀口委員、妻屋委員、石坂委員、石井委員、松本委員、松岡委員</p> <p>（欠席委員） 浅野委員</p> <p>（事務局） 健康福祉部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長、以下8人</p>
議 題	<p>（1） 第7期計画の概要及び第5期～第7期の取組について</p> <p>（2） 計画策定に係るアンケート調査について</p> <p>（3） その他</p>
会議資料の名称	<p>（事前送付資料）</p> <p>資料1 西東京市介護保険運営協議会委員名簿</p> <p>資料2 西東京市介護保険条例及び同施行規則（抜粋）</p> <p>資料3 西東京市介護保険運営協議会会議傍聴取扱要領</p> <p>資料4 介護保険運営協議会日程について（案）</p> <p>資料5 西東京市高齢者保健福祉計画介護保険事業計画（第7期）概要版（当日配布資料）</p> <p>資料6 西東京市の取組等</p> <p>資料7 計画にかかる国・東京都の動向等</p> <p>資料8 第8期計画策定のためのアンケート調査内容（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期） ・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）策定のためのアンケート調査報告書（概要版）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

1 開会

2 委嘱状の交付

3 正副委員長選出

4 会議の運営等について

5 議題

(1) 第7期計画の概要及び第5期～第7期の取組について

○委員長：

第7期計画の概要及び第5期～第7期の取組について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

第7期計画の概要及び第5期～第7期の取組について説明する。(資料5及び資料6について説明)

○委員長：

第7期計画の概要及び第5期～第7期の取組について、質問、意見等があればご発言をお願いしたい。

○委員：

(質問、意見なし)

(2) 計画策定に係るアンケート調査について

○委員長：

計画策定に係るアンケート調査について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

計画策定に係るアンケート調査について説明する。(資料7及び資料8について説明)

○委員長：

計画策定に係るアンケート調査について、質問、意見等があればご発言をお願いしたい。

○委員：

西東京市の取組等について、第6期計画の基本方針にあった「地域包括ケア体制の充実」

という項目が第7期計画からは外れているが、どのような理由か。国の方針にも「地域包括ケアシステムの推進」が挙げられている中で、今後どのように取り組んでいくのか。

○事務局：

基本方針の項目から外れてはいるが、第7期計画から「地域包括ケア体制の充実」という内容が外れたわけではなく、様々な項目に共通した観点として取り入れられている。

○委員：

ご自身で調査票を書けない利用者が多いと感じる。ヘルパーに代筆を依頼する場合もあり、利用者が感じていることを正直に書けない現状がある。

○事務局：

特に、介護保険サービス利用者調査等において、課題になると思う。難しいことではあるが、できる限りご本人の意向を把握できるように項目を設定していきたい。

○委員：

対象者の選定の枠組みを明確にすべきと思う。また、西東京市では年間800人以上が最期を迎える場所を探しているという話もあり、「どこで最期を迎えたいか」を尋ねる設問があるとよいと思う。さらに、革新的な地域包括ケアをより円滑に進めるために、ICT（情報通信技術）等の応用について具体的に示してほしい。そして、介護職員の定着は喫緊の課題であり、それについての設問があればなおよいと思う。

○事務局：

対象者の選定について、各種アンケート調査の対象者が異なっているため、対象範囲が分かるようなイメージ図を作りたいと思う。最期を迎える場所については、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を考える流れもあり、大事な観点だと思う。ICTについては、第7期計画でも一部掲載しているが、事務局もなかなか技術革新に追いつけていない。重要な観点であると思うので、人材不足を補ったり、人間にできない部分を伸ばしたり、ICTを用いたよいアイデアがあればご意見をお願いしたい。介護職員の定着については、事業者がどのように取り組んでいるのかを把握したいと思う。いずれもご意見を踏まえて調査を検討したい。

○委員：

認知症施策について、国が示す「認知症『共生』・『予防』の推進」を反映して、設問を変えていけばよいと思う。認知症の当事者、家族及び地域と一緒に暮らしていくことについて、どのように考えているか。デイサービスやヘルパーを利用できないような中度の認知症の方がいきいきと暮らせる居場所とは何だろうか。地域が受け入れてくれるのか心配で、悩んで

いる。認知症の方と共生できる地域づくりを踏まえて、地域の関心度を知りたい。

○委員：

若年者調査について、これから団塊の世代の子ども世代が介護にあたるケースが増える中で、対象者を30代、40代の若い方々に広げてはどうか。

○事務局：

ご指摘を踏まえて、対象者の範囲をどうするか検討したい。

○副委員長：

介護予防・日常生活支援総合事業の利用者がどのようになっているのか。国が理念として謳う「通いの場」に支える側として社会参加することが本当に介護予防に繋がっているのか、それを推進するためには何が必要なのか、調査ができないか。一般介護予防事業参加者調査に入れ込むよりも、専用の調査票の設計を検討してほしい。

○事務局：

総合事業の利用者の方々がどのように考えているのか、また、「通いの場」への参加をどのように考えているのかは、大事な観点だと思う。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査との兼ね合いも踏まえて、回答者が分かりやすいように、項目の設定を検討したい。

○委員：

介護職員の離職にともない、利用者が多いにもかかわらず、事業所の閉鎖が相次いでいる。さらに、地域によって事業所の数に差が生まれている。また、令和3年度より、居宅介護支援事業所の管理者に主任ケアマネージャー（主任介護支援専門員）の資格が必要となるなど、人員不足にもかかわらず資格勉強をしなければならないという実態がある。

○委員：

西東京市以外で実施されている調査内容はどのようになっているか。また、西東京市ならではの調査項目があれば、市民の方に訴えるものになるのではないか。

○事務局：

他市の調査項目について、各市と比較しているわけではないが、似たような調査を実施している。また、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と在宅介護実態調査は国から示されている項目を含んでおり、他自治体と比較できるものとなっている。西東京市ならではの調査項目については、事務局としても知りたいところであり、総合事業やフレイル予防への取組に対する受け取られ方等、西東京市が持つ地域課題を把握できる調査項目を検討したい。

(3) その他

○委員長：

その他について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

次回の日程は、10月17日の木曜日か10月24日の木曜日の19時から21時までを予定している。場所は、今回と異なり、田無庁舎3階の庁議室を予定している。詳細は後日ご案内する。

○委員長：

以上で第1回介護保険運営協議会を閉会する。